

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和6年5月15日（水） 10:00～12:00
- 3 開催場所 可茂特別支援学校会議室
閉会後に、委員による校内見学を実施した。
- 4 参加者

学 校 側	会 長	板津 幹彦	NPO法人プラス・ワン理事
	副 会 長	板倉 寿明	愛知淑徳大学非常勤講師
	委 員	若尾 真理	可児市こども発達支援センターくれよん所長
		三好 正司	元公立学校教頭
	蔵澄 寿磨子	御嵩町あゆみ館施設長	
	西本 敬貴	牧野区長	
	板津 厚子	当校PTA会長	
	大竹 陽平	校長	
	村山 朋子	事務部長	
	河原 春恵	教頭	
	本田 知子	教頭	
	久保 幸世	小学部主事	
	神野 智美	中学部主事	
	小木曾 齊昭	高等部主事	
	中島 啓介	教務主任	

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和6年度学校概要について

学校：教育の概要、学校運営機構等、教職員の働き方改革（資料）

意見1：本校教職員の勤務状況は、資料の数字等と比べてどうか。

⇒4月は年度始めということもあり、時間外勤務が45時間を超える職員もいたが、少しずつ改善される見通しである。

意見2：本会の委員数等は適切か。学校の規模が大きいため、人数を増やす、新しい委員を加えるなど、検討してほしい。

⇒規則では、「委員10人以内で組織する」とあり、増やすことはできる。来年度に向けて人選等をしていく。

意見3：教職員の働き方が適切かどうかを時間外勤務の時間だけで判断するのではなく、一人一人が働き方に夢を見ることができかどうかという点も大切である。

意見4：メンタルの不調で休む職員もいる。原因を調べていくことが必要である。

意見5：現場が困っていることを出し合うことで、解決につながるとよい。

アクシデントがあったときやハラスメントで被害にあった人が声を上げられるか。外部の人が声を拾うシステムがあってもよい。

⇒県の様式の活用も促しながら、声を上げづらい人への対応も考えていく。持ち帰り仕事がどのくらいあるかを調べることも必要である。

意見6：当事業所でも、正規職員はどうしても時間外勤務時間が長くなることが多い。一人一人にアプローチするが、なかなか改善できないことが多い。

意見7：各部の方針を聞き、小学部から順番に、社会に出ることを見越して取り組んでいる様子がよく分かった。児童生徒も職員も一人一人異なるため、体調やメンタル面でのケアが大切である。

意見8：高等部のスポーツ大会は、高校生活を楽しんでいるという雰囲気が伝わってきた。教職員の様子も生き生きとしており、保護者は安心している。

(2) 作業製品の価格設定について

学校：高等部作業学習の内容と取組み方、令和6年度高等部作業製品価格（資料）

意見1：印刷物はとてもきれいな仕上がりで、大変安価である。昨今の物価高を踏まえ、各製品の値上げを検討するとよい。製品に校名を入れ、積極的にアピールしていけるとよい。

意見2：喫茶のモーニングをもっと値上げしてもよい。

⇒原材料費等の高騰についても検討したが、予算内でやりくりできる見込みなので、今年度は据え置きでいきたい。

意見3：原材料費の他に水道代や電気代を考慮するなら、コーヒーを値上げしてもよい。

⇒水道代や電気代は含まれていない。

意見4：パンは保護者にも大好評であるが、売り切れてしまうことも多いので、対策をしてほしい。

⇒現在、個数制限をしている。多くの方にも買ってもらえるよう配慮していく。

(3) 学校と地域の連携について

学校：各部からの情報提供依頼（資料）

意見1：銀行に児童生徒の作品を掲示してもらったことがあり、評判がよかった。学校を知ってもらうきっかけになる。

意見2：地域の老人会と一緒に活動してはどうか。昔のおもちゃ作りや野菜作りができるとよい。

意見3：喫茶のチラシを、まず区内で回覧できないか検討してみる。

意見4：可児市内の商業施設等で製品の紹介・販売ができるかもしれない。検討してほしい。

意見5：近くの小学校と情報交換をしながら、地域での活動を展開していけるとよい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・令和6年度作業製品の価格（令和7年度第1回学校運営協議会まで）について、全員より承認が得られた。
- ・教職員の働き方改革について、たくさんの意見や助言を得ることができた。時間外勤務の時間を目安としつつも、教職員のモチベーションを大切に、心身の健康を保ちながら働けるような職場づくりを心掛けていく。
- ・地域の方に本校の取組や児童生徒の様子を知ってもらうため、ホームページや回覧板の活用、地域の施設に依頼してチラシを掲示してもらうなどの方法で積極的に情報発信をしていく。また、交流先や情報収集先として、地域資源を柔軟に活用していく。